

## 平成26年度教育研究活動報告書

氏名	安達 巧	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）&修士（法学）（東北大学）	職位	教授
専門分野	経営戦略、会計、コーポレートガバナンス、監査、アントレプレナー（起業家）育成		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 会計学 経営分析論 簿記原理Ⅰ		
大学院	研究指導 研究演習 会計学特論 簿記論特論		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）著書『ディスクロージャーとアカウンタビリティー—監査人としての公認会計士の責任—』創成社（2002）			
（2）著書『会計基準の法的位置づけ—財務書類の真実性と会計・監査基準—』税務経理協会（2004）			
（3）著書『ベンチャー企業のファイナンス戦略—会社法の徹底活用—』白桃書房（2007）			
（4）著書『会計制度の断面』ふくろう出版（2011）			
（5）著書『コーポレートガバナンスと監査と裁判所』ふくろう出版（2014）《日本図書館協会選定図書》			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
（1）論文「実効的な日本型コーポレートガバナンスの模索—オリンパス事件を契機として—」『産業経理』第72巻第2号、2012年7月			
（2）論文「コーポレートガバナンスと会計監査人監査—『監査における不正リスク対応基準』の新設及び監査責任訴訟増加を踏まえて—」『産業経理』第73巻第2号、2013年7月			
（3）論文「金融商品取引法監査の趣旨及び目的と監査人の責任—JALの監査の失敗を契機として—」『会計』第185巻第3号、2014年3月			
（4）論文「JALの監査人の監査責任訴訟・第1審判決について—判例研究における留意点を踏まえつつ—」『会計』第187巻第3号、2015年3月			
（5）著書『サムライ・イノベーション～社会を変える起業家のための思考と資金戦略～』ふくろう出版（2015）			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）経営戦略と会計			
（2）コーポレートガバナンスと監査			
（3）アントレプレナー（起業家）育成			
研究テーマの進捗状況	（1）、（2）及び（3）のいずれのテーマについても研究成果の一部を既に著書や論文として公表したが、引き続き研究を継続している。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日本会計研究学会、日本経営学会、日本私法学会、日本監査研究学会、日本税法学会			